

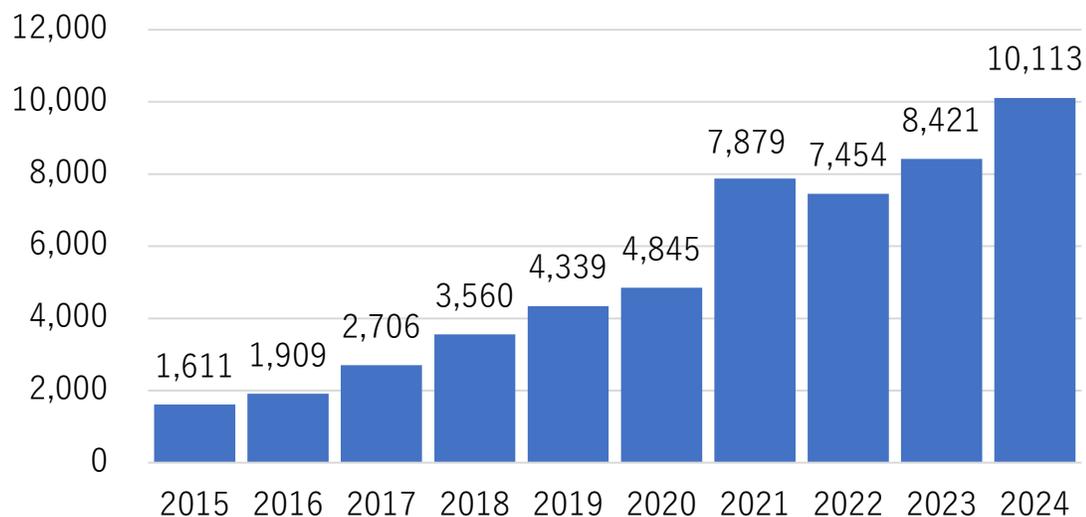
# 牛肉輸出をめぐる動向

2024年輸出実績

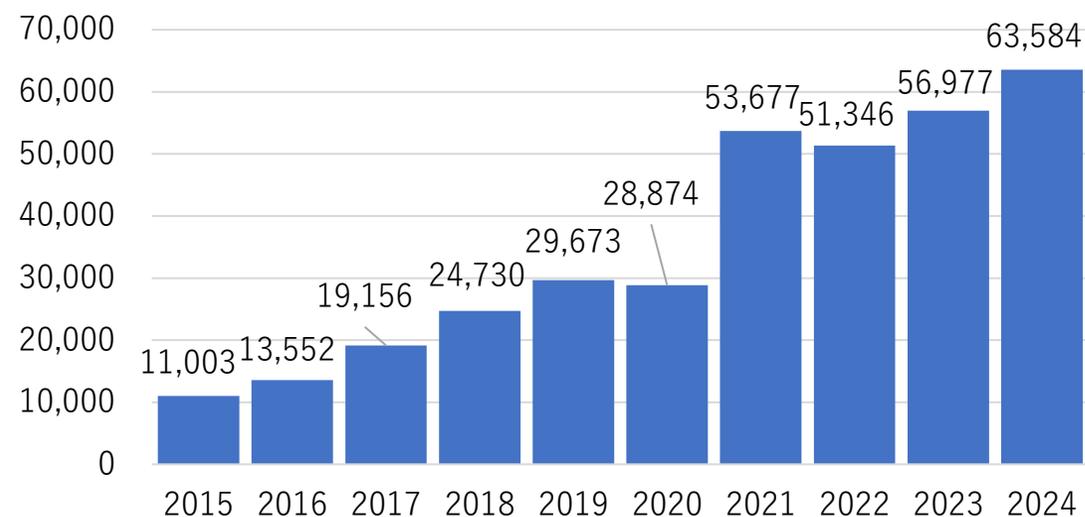
# 1 輸出品、金額、単価の推移

- 2024年の牛肉輸出は、数量で前年比**120%**、金額で同**112%**といずれも前年より増加
- 輸出単価は、前年比**93%**と前年より低下

牛肉輸出数量（トン）



牛肉輸出金額（百万円）



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	前年比
数量（トン）	1,611	1,909	2,706	3,560	4,339	4,845	7,879	7,454	8,421	<b>10,113</b>	120%
金額（百万円）	11,003	13,552	19,156	24,730	29,673	28,874	53,677	51,346	56,977	<b>63,584</b>	112%
単価（円/kg）	6,831	7,098	7,078	6,947	6,838	5,960	6,813	6,888	6,766	<b>6,287</b>	93%

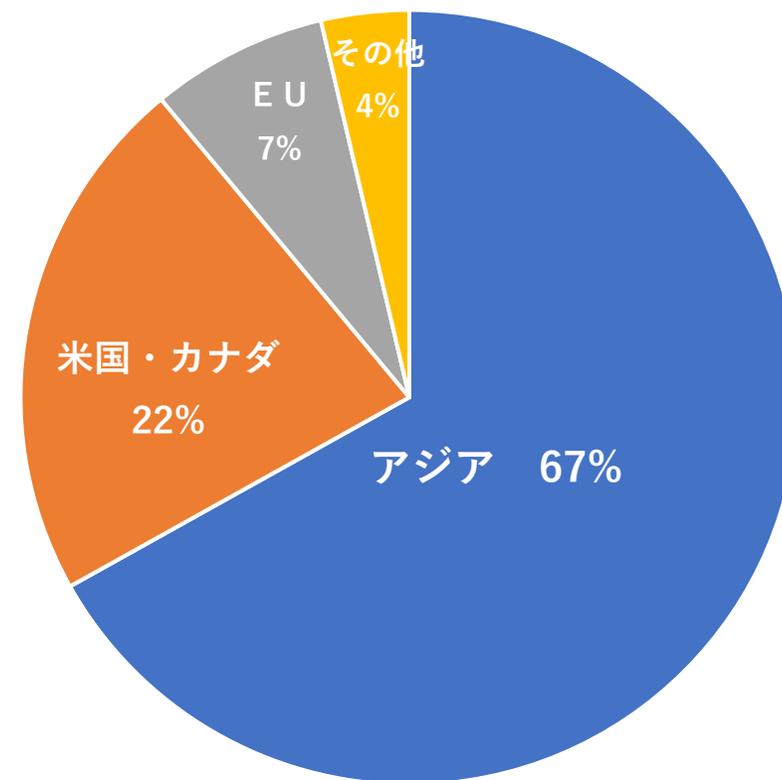
資料：財務省「貿易統計」（正肉）。以下の輸出金額及び数量に関するデータの出典は特に注意書きがない限り同じ。

## 2 主な輸出地域

- 2024年は、数量ベースでアジア向けが**67%**、米国・カナダ向けは**22%**を占めた。
- 金額ベースでは、アジア向けが**62%**と数量ベースより縮小する一方で、米国・カナダ向けは**23%**、EU向けは**11%**を占めた。

		数量（トン）	割合	金額（百万円）	割合
2023	アジア	6,032	72%	36,824	65%
	米国・カナダ	1,230	14%	10,078	18%
	EU	566	7%	5,395	9%
	その他	592	7%	4,679	8%
	合計	8,421	100%	56,976	100%
2024	アジア	<b>6,764</b>	<b>67%</b>	<b>39,555</b>	<b>62%</b>
	米国・カナダ	<b>2,234</b>	<b>22%</b>	<b>14,263</b>	<b>23%</b>
	EU	<b>745</b>	<b>7%</b>	<b>7,008</b>	<b>11%</b>
	その他	<b>370</b>	<b>4%</b>	<b>2,758</b>	<b>4%</b>
	合計	<b>10,113</b>	<b>100%</b>	<b>63,584</b>	<b>100%</b>

2024年 地域別輸出数量割合



注：EUには英国を含む。以下のEUの表記は同じ。

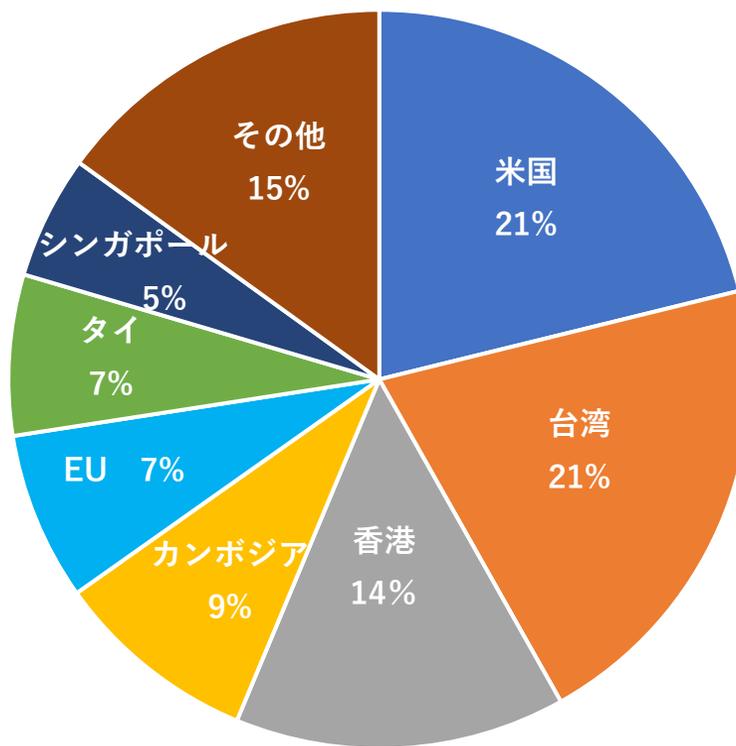
### 3 国・地域別の輸出実績

- 2024年の数量ベースでの輸出先国トップ5は、米国（**21%**）、台湾、香港、カンボジア、EUの順
- 金額ベースでも米国（**21%**）がトップで、次いで台湾、香港、EU、カンボジアの順

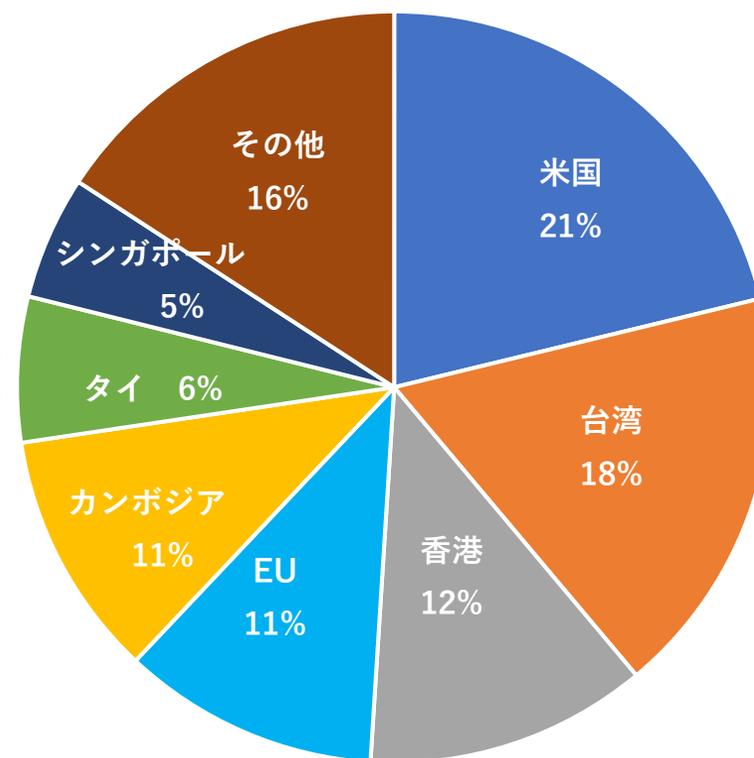
牛肉の輸出先別数量（トン）

	2023年	2024年	シェア	前年比
米国	1,142	<b>2,139</b>	21%	187%
台湾	1,692	<b>2,094</b>	21%	124%
香港	1,520	<b>1,458</b>	14%	96%
カンボジア	1,133	<b>901</b>	9%	80%
EU	566	<b>745</b>	7%	132%
タイ	474	<b>712</b>	7%	150%
シンガポール	544	<b>546</b>	5%	100%
その他	1,348	<b>1,518</b>	15%	113%
合計	8,421	<b>10,113</b>	100%	120%

2024年 国別輸出数量シェア



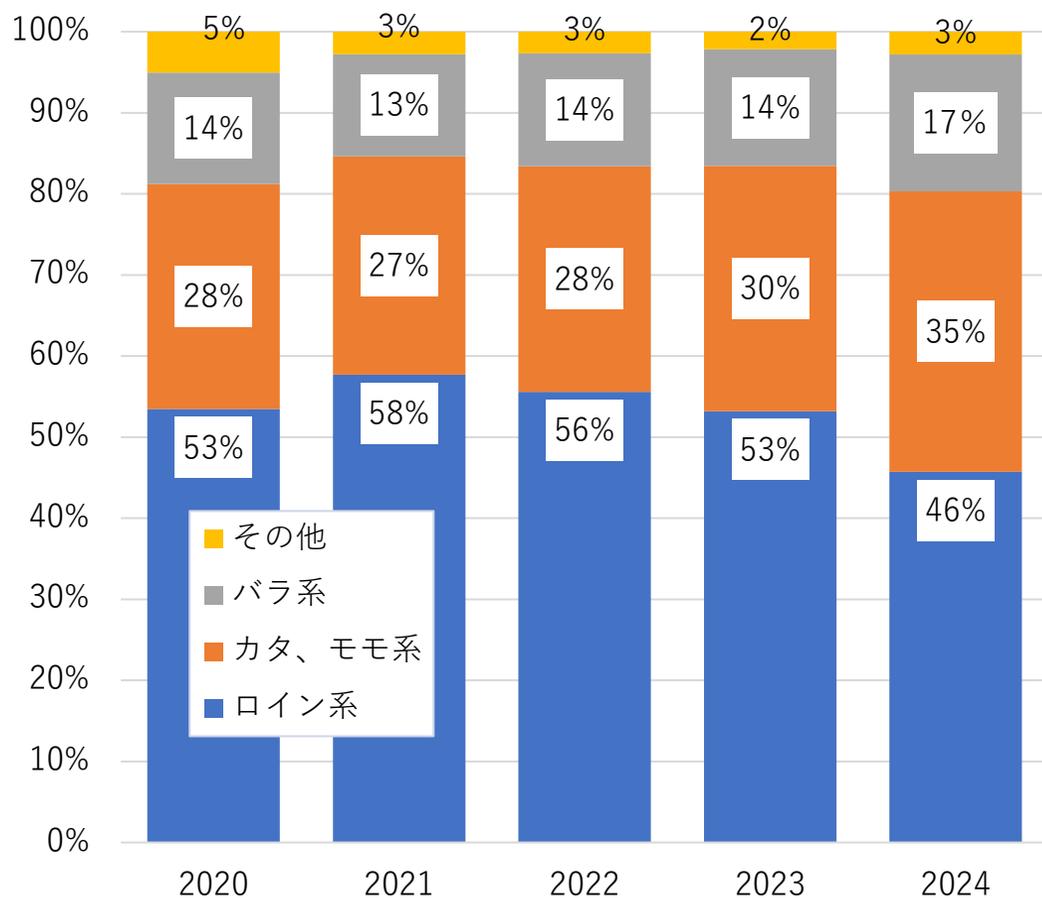
2024年 国別輸出金額シェア



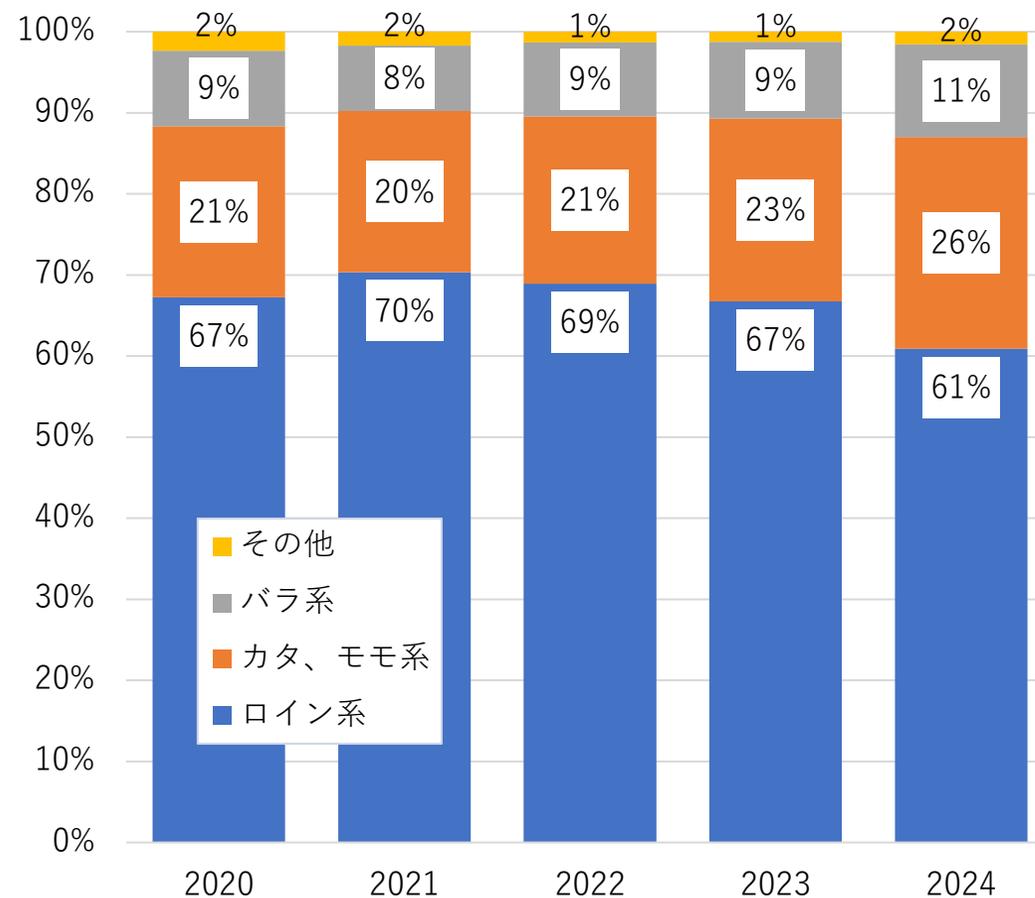
# 4 部位別の比率

- 2024年に輸出された牛肉の部位別割合は、ロイン系が最も多く数量ベースで**46%**（金額ベースで**61%**）を占め、以下、カタ・モモ系が**35%**、バラ系が**17%**、その他**3%**の順
- これらの割合は、前年と同傾向だが、ロイン系割合の減少分がカタ・モモ系・バラ系増加分に反映

品目別輸出割合（数量ベース）



品目別輸出割合（金額ベース）

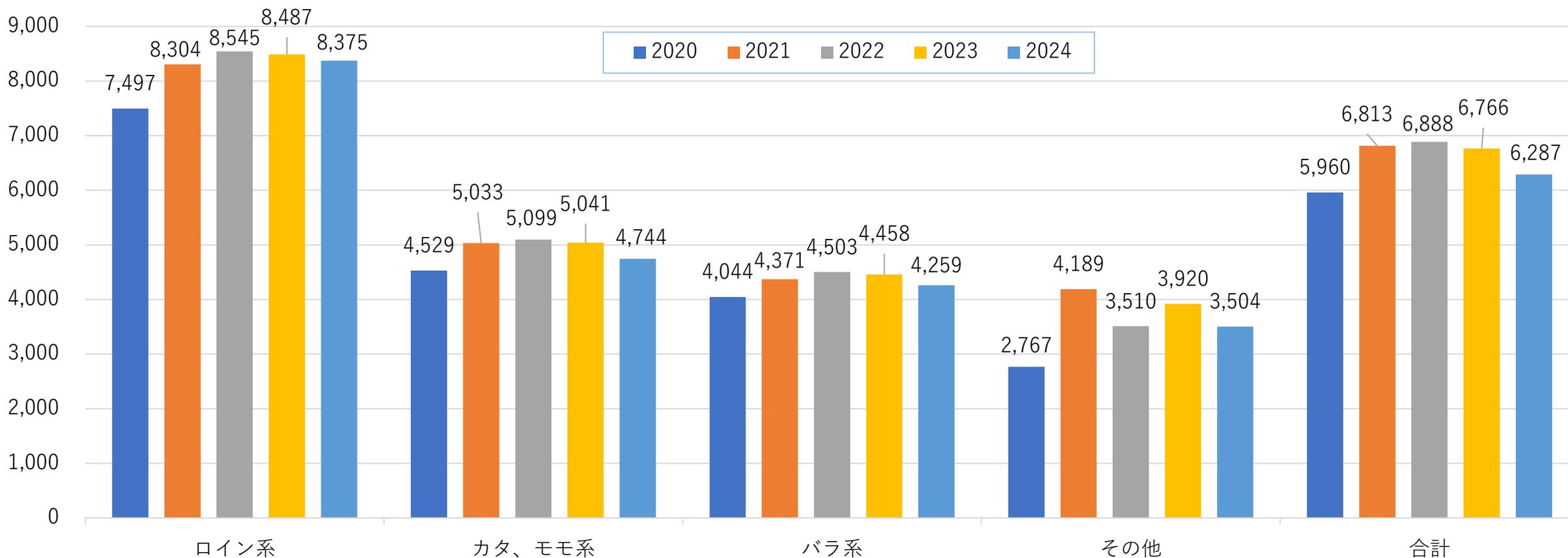


# 5 部位別の輸出単価



- 2024年の平均（合計）単価は、前年からかなり低下（93%）し、6,287円/kg
- 品目別にも、ロイン系（99%）、カタ、モモ系（94%）、バラ系（96%）、その他（89%）とすべての単価が低下

品目別の輸出単価

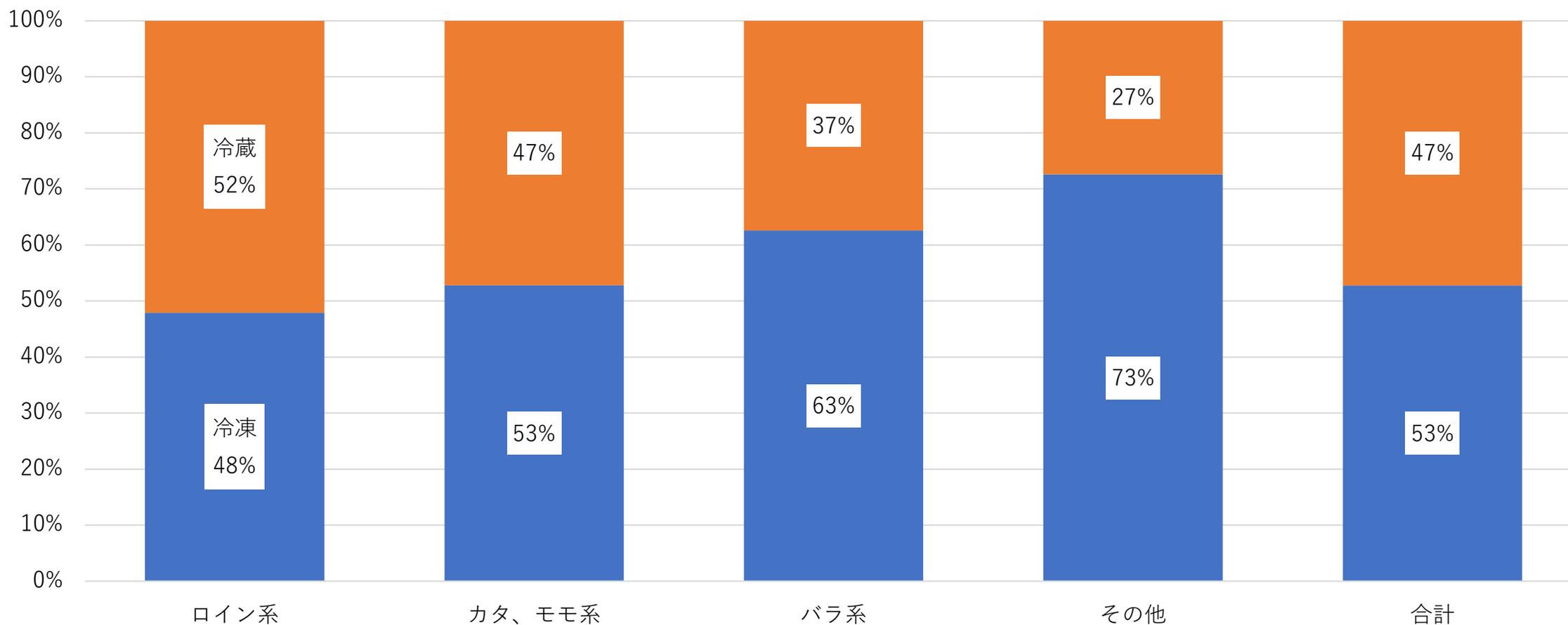


## 6 部位別の冷蔵・冷凍比率



- 2024年の全輸出数量における冷蔵・冷凍割合は、冷蔵が47%と冷蔵の比率が前年よりやや低下
- 部位別の前年比較では、冷蔵の比率がロイン系でわずかに上昇し、他の部位は総じて低下

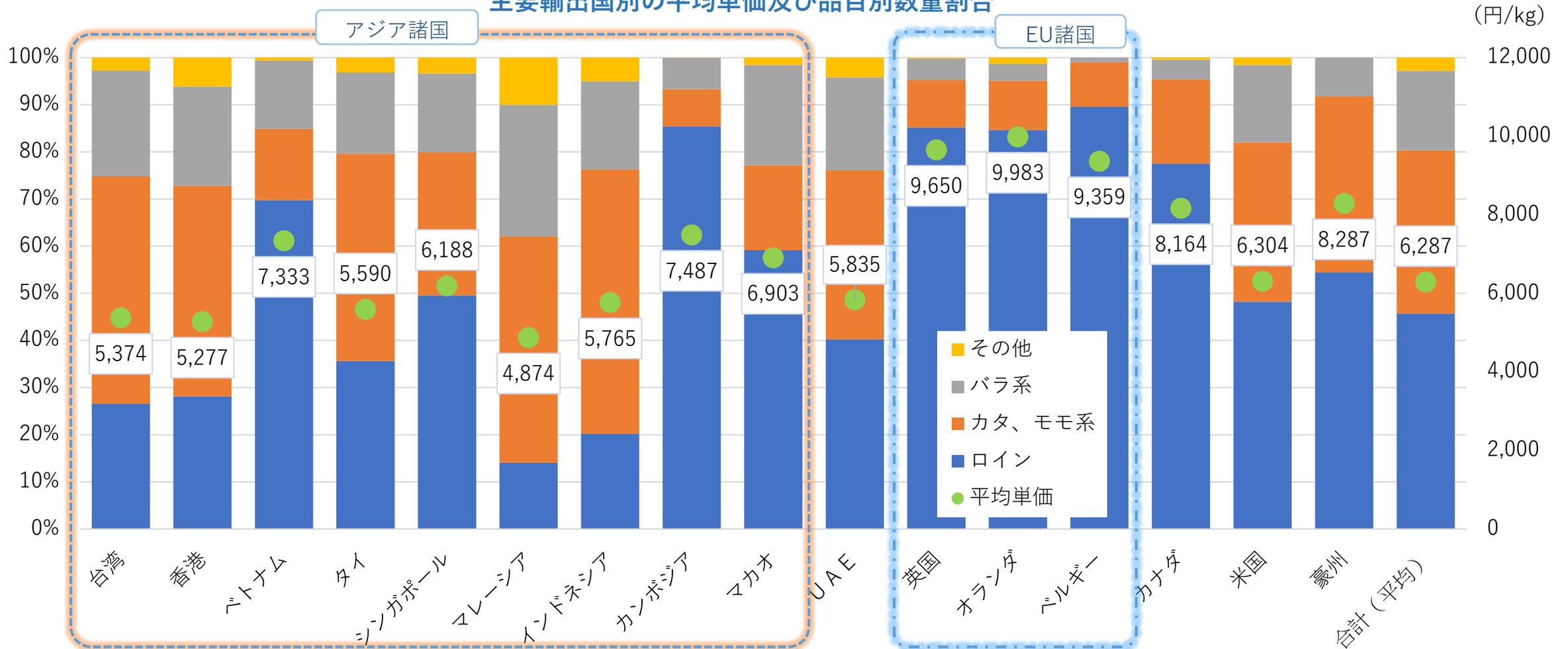
2024年 部位別の冷蔵・冷凍割合



# 7 主要輸出国別の平均輸出単価の比較

- 2024年の平均輸出単価の高い国は、EU諸国などで8,000円/kg以上。米国の平均輸出価格はロイン系の比率低下などにより大幅に低下
- アジア諸国はロイン系の比率が総じて低く、平均輸出単価も低めの傾向

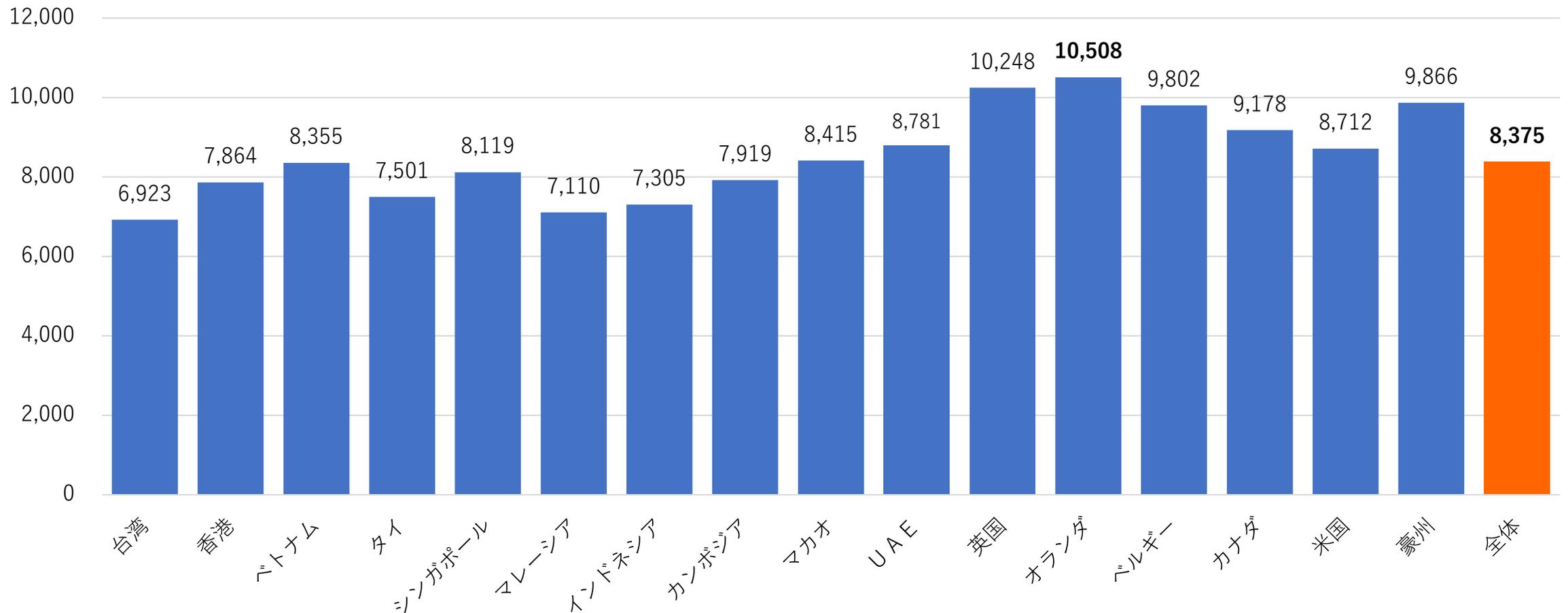
主要輸出国別の平均単価及び品目別数量割合



## 8 主要輸出国別のロイン系の輸出単価の比較

- 2024年のロイン系の平均輸出単価は、前年より**1%**低下し、**8,375円/kg**
- 最高値はオランダで、前年より1%低下したものの、**10,508円/kg**

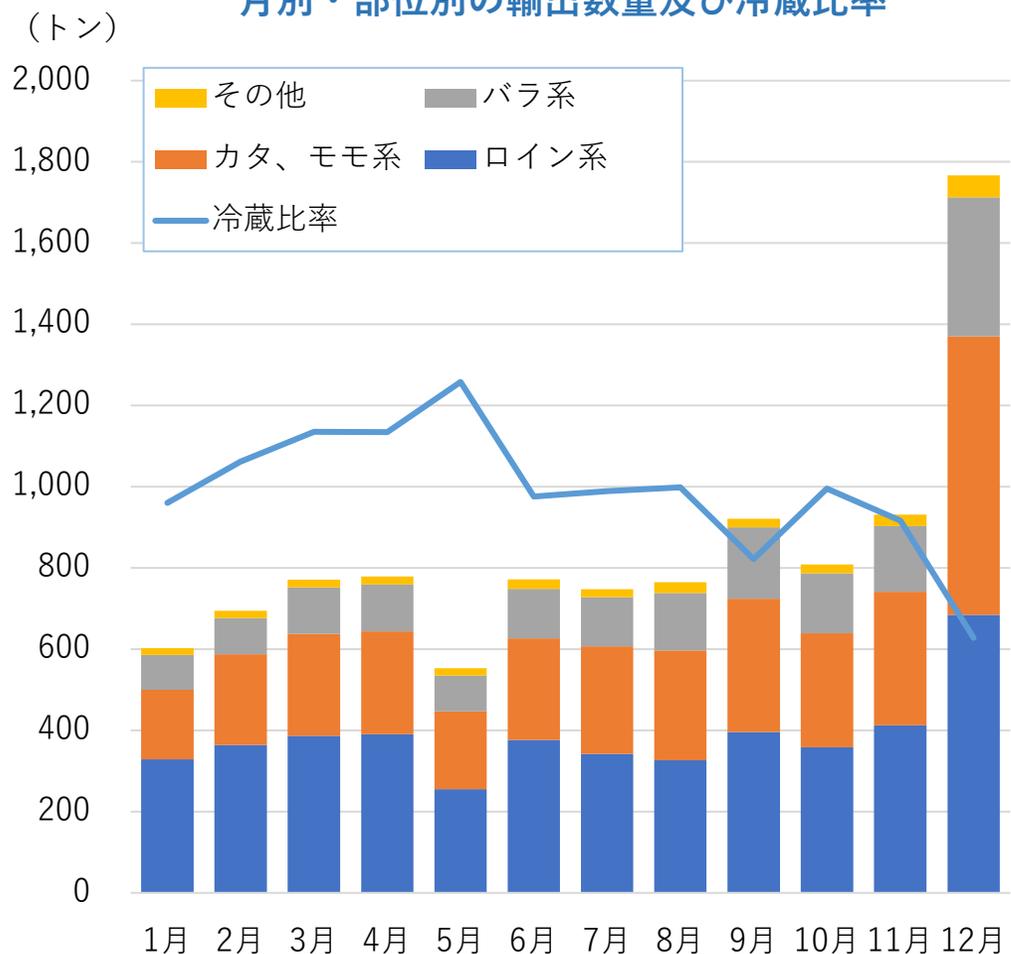
2024年 主要国別のロイン系輸出単価（円/kg）



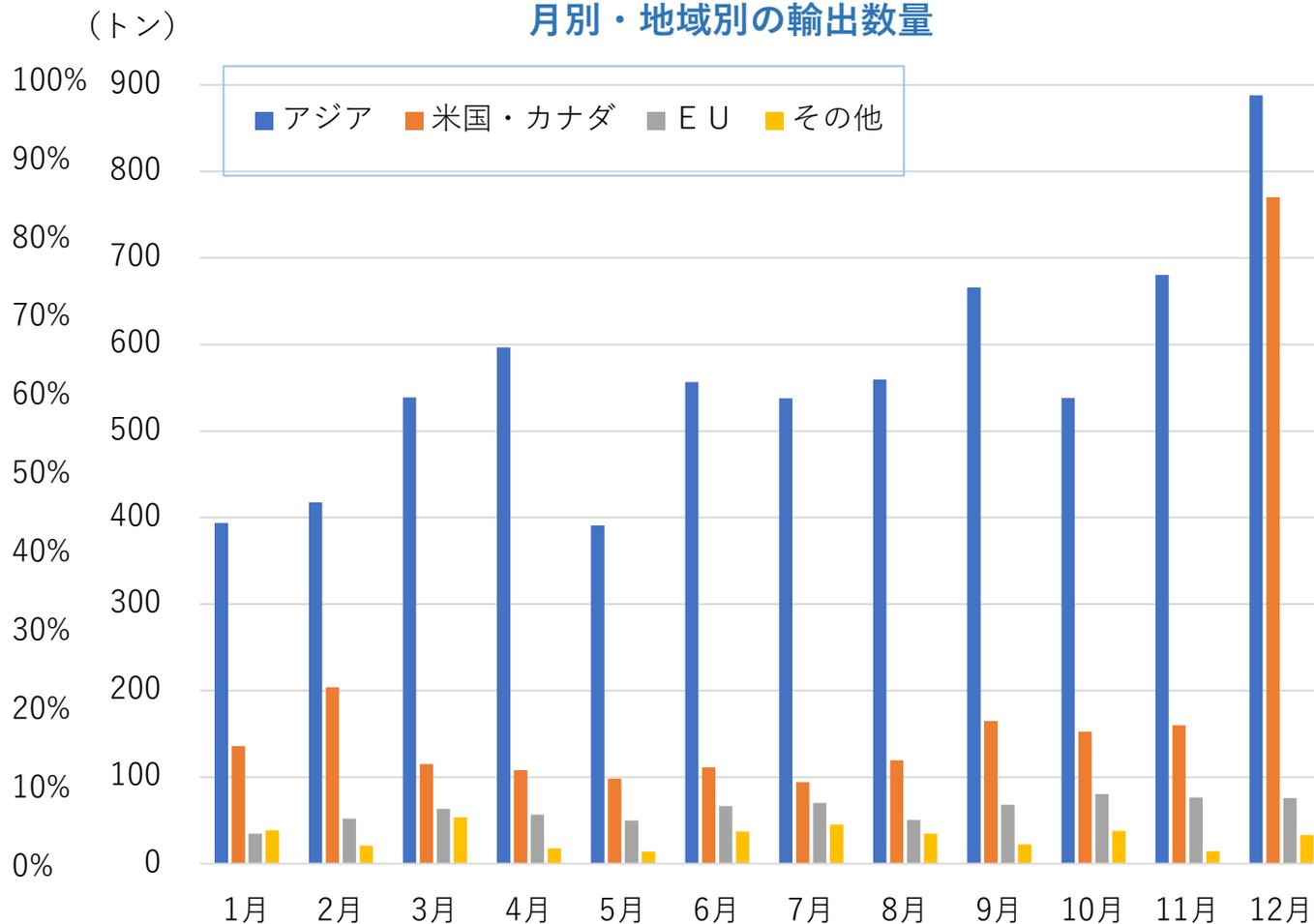
# 9 2024年の月別輸出の推移

- 月別の輸出量をみると、アジア向けを中心に年末に向けて増加する傾向
- 米国向けの12月の輸出量は、前月比501%、前年同月比532%と大幅に増加

月別・部位別の輸出数量及び冷蔵比率



月別・地域別の輸出数量



# 10 2024年の輸出金額上位10か国・地域



	2023年（冷蔵・冷凍計）					2024年（冷蔵・冷凍計）						
	数量 （トン）	前年比	金額 （百万円）	前年比	単価 （円/kg）	数量 （トン）	前年比	金額 （百万円）	前年比	単価 （円/kg）	数量割合	金額割合
第1位 米国	1,142	107%	9,283	102%	8,126	2,139	187%	<b>13,482</b>	145%	6,304	21%	21%
第2位 台湾	1,692	136%	9,495	133%	5,612	2,094	124%	<b>11,254</b>	119%	5,374	21%	18%
第3位 香港	1,520	111%	8,442	109%	5,553	1,458	96%	<b>7,694</b>	91%	5,277	14%	12%
第4位 EU	566	112%	5,395	107%	9,528	745	132%	<b>7,008</b>	130%	9,409	7%	11%
第5位 カンボジア	1,133	125%	8,527	120%	7,527	901	80%	<b>6,748</b>	79%	7,487	9%	11%
第6位 タイ	474	82%	2,865	88%	6,039	712	150%	<b>3,978</b>	139%	5,590	7%	6%
第7位 シンガポール	544	92%	3,260	94%	5,990	546	100%	<b>3,377</b>	104%	6,188	5%	5%
第8位 マレーシア	293	122%	1,518	113%	5,191	410	140%	<b>1,997</b>	132%	4,874	4%	3%
第9位 ベトナム	132	91%	995	87%	7,552	272	206%	<b>1,992</b>	200%	7,333	3%	3%
第10位 マカオ	142	156%	1,014	160%	7,136	200	141%	<b>1,380</b>	136%	6,903	2%	2%

# 11 2024年の主要輸出国別のロイン比率等



	数量 (トン)	金額 (百万円)	冷蔵数量 比率	全品目単価 (円/kg)	ロイン単価 (円/kg)	ロイン数量 比率	備考
米国	2,139	13,482	48%	6,304	8,712	48%	冷蔵品、ロイン系とも5割
香港	1,458	7,694	30%	5,277	7,864	28%	冷蔵品が3割、カタ・モモ系が45%、ロイン系が28%
台湾	2,094	11,254	80%	5,374	6,923	27%	冷蔵品が8割、カタ・モモ系が48%、ロイン系が27%
カンボジア	901	6,748	0%	7,487	7,919	85%	ほぼ冷凍品、アジアの中ではロイン系比率高い
シンガポール	546	3,377	71%	6,188	8,119	50%	冷蔵品が7割、ロイン系が5割、カタ・モモ系3割
タイ	712	3,978	7%	5,590	7,501	36%	冷凍品9割以上、ロイン系が36%、カタ・モモ系が44%
E U	745	7,008	92%	9,409	10,088	82%	冷蔵品9割以上、ロイン系が8割以上
オランダ	221	2,202	83%	9,983	10,508	85%	冷蔵品8割、ロイン系が8割以上
ベルギー	87	811	100%	9,359	9,802	90%	すべて冷蔵品、ロイン系が90%、カタ・モモ系が9%
英国	116	1,116	97%	9,650	10,248	85%	ほぼ冷蔵品、ロイン系が8割以上
豪州	77	635	96%	8,287	9,866	54%	ほぼ冷蔵品、カタ・モモ系、バラ系とも37%
U A E	165	965	1%	5,835	8,781	40%	ほぼ冷凍品、ロイン系が40%、カタ・モモ系が36%
<b>合計</b>	<b>10,113</b>	<b>63,584</b>	<b>47%</b>	<b>6,287</b>	<b>8,375</b>	<b>46%</b>	

# 12 直近5年間主要輸出国別のロイン比率の推移



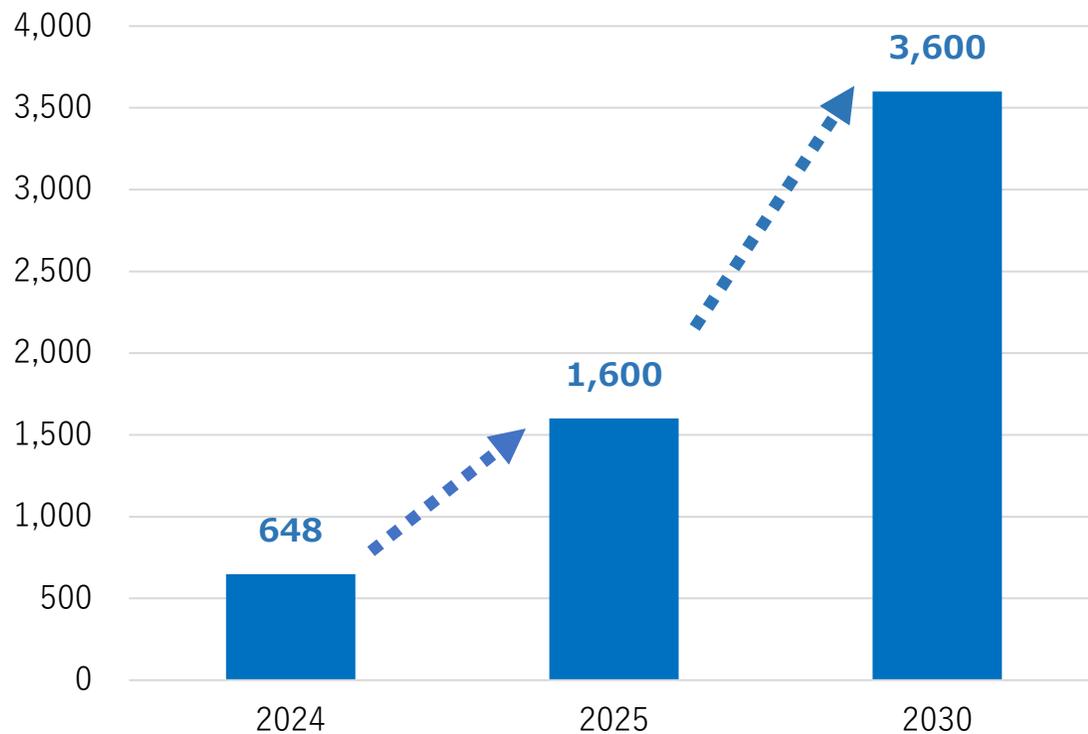
	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	ロイン単価 (円/kg)	ロイン数量 比率								
米国	8,406	88%	9,567	80%	9,047	86%	8,982	79%	8,712	<b>48%</b>
香港	6,416	35%	7,200	34%	7,454	35%	7,726	33%	7,864	<b>28%</b>
台湾	6,887	27%	7,553	28%	7,604	28%	7,381	26%	6,923	<b>27%</b>
カンボジア	7,297	75%	7,749	76%	8,236	87%	8,137	83%	7,919	<b>85%</b>
シンガポール	7,188	48%	7,557	46%	7,720	45%	7,915	47%	8,119	<b>50%</b>
タイ	7,305	52%	7,379	51%	7,114	44%	7,842	44%	7,501	<b>36%</b>
E U	9,592	87%	10,321	85%	10,568	86%	10,223	83%	10,088	<b>82%</b>
オランダ	10,462	86%	11,236	84%	11,003	86%	10,573	90%	10,508	<b>85%</b>
ベルギー	9,119	88%	9,740	82%	10,866	78%	10,325	65%	9,802	<b>90%</b>
英国	9,796	81%	9,510	91%	9,722	91%	9,987	91%	10,248	<b>85%</b>
豪州	9,702	37%	10,640	37%	11,053	41%	9,772	46%	9,866	<b>54%</b>
U A E	13,485	55%	13,166	38%	14,544	43%	12,015	46%	8,781	<b>40%</b>
合計	<b>7,497</b>	<b>53%</b>	<b>8,304</b>	<b>58%</b>	<b>8,545</b>	<b>56%</b>	<b>8,487</b>	<b>53%</b>	<b>8,375</b>	<b>46%</b>

# 13 牛肉の輸出目標



- 2024年の輸出額は、**648億円**（正肉のほか、牛くず肉、加工品を含む）と過去最高を記録した（前年比**112%**）。
- 政府は牛肉の輸出目標を2025年に1,600億円、2030年に3,600億円と設定
- 政府の輸出拡大実行戦略の2025年目標では、香港330億円、台湾239億円、米国185 億円、EU104 億円、イスラム諸国55億円、中国400億円と設定

牛肉の輸出額と目標（億円）



	2024年 (億円)	2025年目標 (億円)	25年目標充足率 (%)
合計	648	<b>1,600</b>	41
香港	85	<b>330</b>	26
台湾	113	<b>239</b>	47
米国	135	<b>185</b>	73
E U	71	<b>104</b>	68
イスラム諸国	36	<b>55</b>	65
中国	—	<b>400</b>	—
その他	208	<b>288</b>	72

# 14 和牛ロインの輸出割合の試算



• 2024年のロイン系の輸出量は、国産和牛のロイン系生産量の**18%**に相当

- ① ロイン系は、リブローズ、サーロイン及びヒレの3部位とし、いずれも（公社）日本食肉格付協会の牛部分肉取引規格（13部位）に基づいた製品として推計
- ② 和牛枝肉生産量は農林水産省「食肉流通統計」の和牛のうちオスを除く生産量
- ③ 和牛ロイン系推計生産量に用いた70%は枝肉からの部分肉歩留まり、14%は①の13部位にロイン系の占める構成比として推計

年次	ロイン系輸出重量 (トン) a	和牛枝肉生産量 (トン) b	和牛ロイン系推計生産量 (トン) c : $b \times 70\% \times 14\%$	ロイン系生産に占める ロイン系の輸出割合 a/c
2019	2,664	215,702	21,139	13%
2020	2,590	226,895	22,236	12%
2021	4,546	228,512	22,394	20%
2022	4,141	233,165	22,850	18%
2023	4,480	241,060	23,624	19%
<b>2024</b>	<b>4,623</b>	<b>255,915</b>	<b>25,080</b>	<b>18%</b>

# 15 牛肉輸出の国内価格・生産の下支え効果



神戸大学大学院農学研究科『和牛輸出が日本の和牛生産等に与える効果等の調査研究報告書』  
上田修司 八木浩平（2024）

- （1）農産物の輸出は、需給調整を通じて、国内価格を下支えする効果を持っていると言われている。
- （2）牛肉について2017年～2023年のデータを統計処理して、牛肉の輸出の効果を試算して次のような結果を得た。
  - ① 牛肉の輸出増加は、A3～A5ランクの和牛の枝肉卸売価格を有意に上昇させる効果がある。
  - ② 2023年の輸出量（12,030トン/年（枝肉換算））から見ると、牛肉輸出は  
A3～A5ランク和牛が  
枝肉卸売価格を339.9円/kg(13.90%)  
枝肉生産量を1万6,148トン/年（7.70%）生産額を1,050億9,956万円（20.50%）  
下支えしている。